

平成29年度入学試験問題（前期日程）

## 小論文

法文学部 人間科学科（人間行動専攻・社会学専攻）

### 注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、150分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

## 問 題

以下の資料を読み、次の各問に答えなさい。

問 1 資料の要旨を 350 字以上 400 字以内で述べなさい。

問 2 資料の論旨をふまえた上で、資料冒頭の下線部に対するあなたの考えを 700 字以上 800 字以内で述べなさい。

**資料**

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

(見田宗介, 『現代社会はどこに向かうか 《生きるリアリティの崩壊と再生》』, 弦書房, 2012年, 2~15 ページ, 抜粋・一部改変)

## 平成29年度入学試験問題（前期日程）

# 小論文

### 法文学部 人間科学科（人間行動専攻・社会学専攻）

#### 出題の意図

資料は、時代が異なる二つの無差別殺人事件をもとに、人々の「まなざし」と「まなざしの不在」が個人の生きる力を奪ったことを論じている。本問題は変容する社会の中で個人の「現代における生きがい」あるいは「生きるリアリティ」をどこに求めるかを問うものである。

少子高齢化が進み、かつてのような経済発展が見込めない現代において、他者との関係を個人がいかに構築し、どのような「生きがい」をもって他者と共存していくのかを考える際には、思想、行動、社会、文化など多様な観点からのアプローチが可能であろう。

受験生に問われるのは、資料を読みその論旨や意図を把握する能力、資料の内容をふまえて自分なりに視点を設定する能力、自分の考えを論理的に構成し論述する能力である。本問題はアドミッションポリシーに基づき、複眼的思考力や論理的考察力をみるものである。